

西条の課題 松山大と解決

包括連携協定を結んだ西条市の玉井市長(左)と松山大の溝上学長



産業活性化などで連携へ

西条市と松山大は26日、産業活性化や人口

減少対策などでの協力を盛り込んだ包括連携

協定を締結した。協定は産業・地域活

性化、医療福祉の増進、スポーツ振興などの5

項目。西条市が設立予定の自治体シンクタンクでの連携、大学発ベンチャーの可能性発掘と育成などに取り組む。

26日は西条市ひうちの市地域創生センターで調印式があり、玉井敏久市長と溝上達也学長が協定書に署名。玉井市長は「人口減少から派生するさまざまな課題の解決につなげたい」と期待し、溝上学長は「高等教育機関としての知的資源を生かし、地域活性化に貢献したい」と述べた。

(岩田太)